

# 鳥取地震被災地へ派遣

## AMDA、県 健康相談や情報収集



出発前に抱負を述べるAMDAの派遣メンバー＝岡山市のAMDA本部

鳥取県中部の地震を受け、国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）と県は24日、それぞれ支援チームを鳥取県に派遣した。被害の大きかった倉吉市を中心に、避難所での健康相談や情報収集などを行う。（27面関連）

AMDAは25日まで

の日程で、調整員と看護師の計3人を第一陣として出発させ

た。避難所を巡って被災者のニーズを把握し、今後の支援策を探る。看護師の橋本千明さん（36）は「余震が続く中、高齢者ら災害弱者を中心にストレスによる体調不良が心配される。適切な支援を見極めたい」と話した。

県は鳥取県の要請を踏まえ、保健師ら6人でつくるチームを結成。現地の避難所の巡回と各戸訪問を行い、被災者の健康相談や

衛生対策に当たる。被災した建物の危険性をチェックする「応急危険度判定士」についても倉敷、津山、新見の3市と合同で計10人を倉吉市などに派遣した。

（秋山昌三、松島健）